

株主通信

第53期 決算のご報告
2010年4月1日から2011年3月31日まで



株式会社 **丸順**

株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび当社第53期決算（2010年4月1日から2011年3月31日まで）を終了いたしましたので、ご報告を申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2011年 6月

取締役社長

今川 善章

連結業績の概況

当連結会計年度における世界経済は、回復基調だった米国経済の鈍化や、欧州諸国の財政危機問題による混乱があり、日米欧の先進国が長期の不況から脱却できず、回復基調を維持しながらも不安定な状況で推移しました。一方、先進国とは対照的に、中国・インドに代表される新興国においては、インフレの懸念や政情不安を内包しながらも高い経済成長を維持し、世界経済を牽引しました。

当社グループが属する自動車業界におきましては、国内では政府によるエコカー補助金施策の終了や、長期化するデフレの影響もあり、国内需要が落ち込んだほか、円高の進行による影響も強く、全体として厳しい状況で推移しました。海外では、先進国においては自動車需要の回復は鈍かったものの、世界最大の自動車市場となった中国を中心に、経済成長により需要が増加した新興国地域において好調に推移しました。

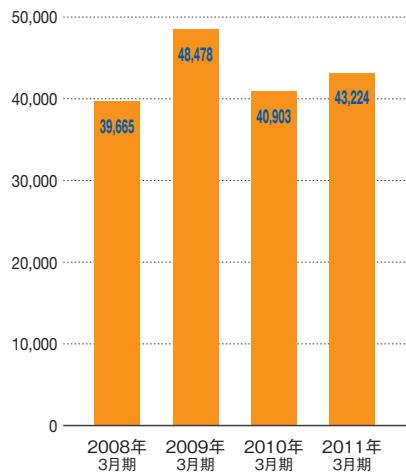
しかしながら、2011年3月に発生した東日本大震災により、国内自動車メーカー及びそのグループ会社が大きな影響を受け、日本だけでなく海外での生産活動にも支障が生じており、今後の見通しは極めて不透明となっております。

このような状況のもと、当社グループは、前年度からの取組みであるROA重視の抜本的経営改革を徹底して推進することで「ボトム生産体質」を構築し、2011年3月期末の業績黒字化によるV字回復を目指し各種施策に取り組んでまいりました。

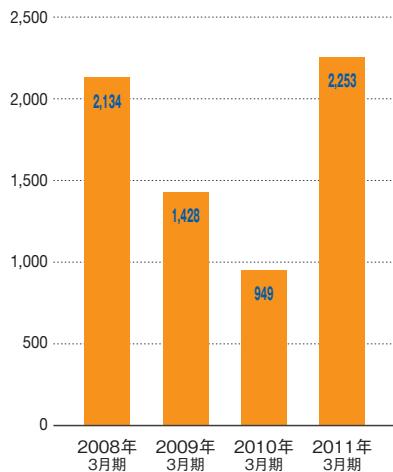
この結果、当連結会計年度の売上高は43,224百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益は2,253百万円（前年同期比137.3%増）、経常利益は1,827百万円（前年同期比295.9%増）、当期純利益は683百万円（前年同期は598百万円の当期純損失）となりました。なお、東日本大震災の影響により、227百万円の特別損失を計上しております。

連結決算ハイライト

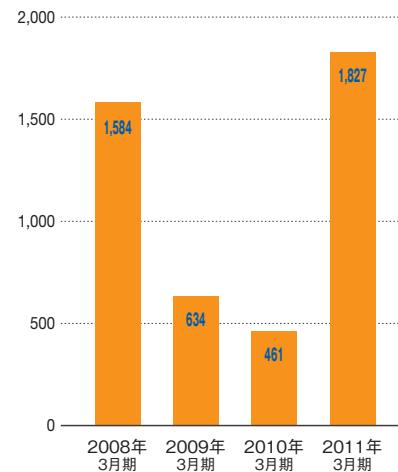
● 売上高 (単位: 百万円)



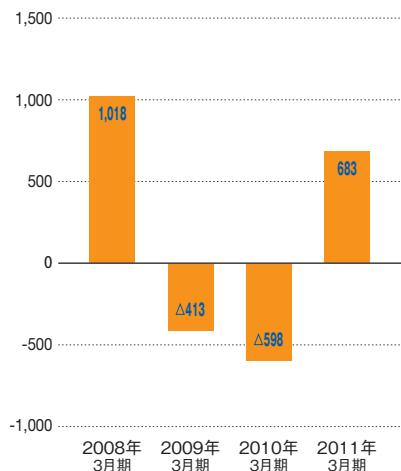
● 営業利益 (単位: 百万円)



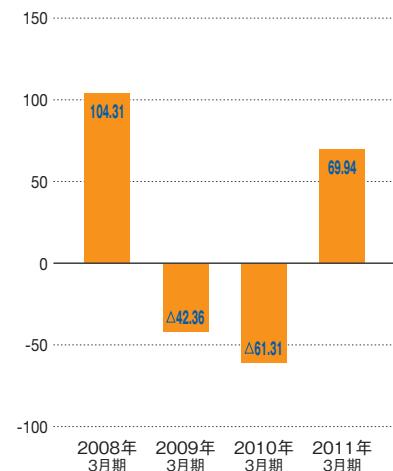
● 経常利益 (単位: 百万円)



● 当期純利益 (単位: 百万円)



● 1株当たり当期純利益 (単位: 円)



● 総資産・純資産 (単位: 百万円)



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当期末 2011年3月31日現在	前期末 2010年3月31日現在
資産の部		
流動資産	9,590	11,661
現金及び預金	595	1,654
受取手形及び売掛金	5,926	7,049
商品及び製品	332	393
仕掛品	1,312	934
原材料及び貯蔵品	618	597
繰延税金資産	24	159
その他	784	876
貸倒引当金	△4	△3
固定資産	22,090	25,688
有形固定資産	19,655	23,357
建物及び構築物	5,358	6,032
機械装置及び運搬具	5,076	6,233
工具、器具及び備品	4,721	5,446
土地	1,913	1,957
リース資産	1,175	1,834
建設仮勘定	1,410	1,851
無形固定資産	128	176
投資その他の資産	2,307	2,155
投資有価証券	1,619	1,727
繰延税金資産	367	83
その他	336	360
貸倒引当金	△17	△16
資産合計	31,681	37,349

(単位：百万円)

科 目	当期末 2011年3月31日現在	前期末 2010年3月31日現在
負債の部		
流動負債	14,976	18,678
支払手形及び買掛金	5,357	5,600
短期借入金	7,583	10,425
リース債務	373	399
未払法人税等	149	104
賞与引当金	231	232
その他	1,280	1,915
固定負債	8,535	10,688
長期借入金	6,526	8,465
リース債務	642	1,018
繰延税金負債	388	376
退職給付引当金	756	682
役員退職慰労引当金	89	84
資産除去債務	80	—
負ののれん	26	36
その他	25	24
負債合計	23,512	29,366
純資産の部		
株主資本	6,334	5,690
資本金	1,037	1,037
資本剰余金	935	935
利益剰余金	4,363	3,719
自己株式	△2	△2
その他の包括利益累計額	△745	△137
その他有価証券評価差額金	402	487
為替換算調整勘定	△1,147	△624
少数株主持分	2,579	2,430
純資産合計	8,168	7,983
負債純資産合計	31,681	37,349

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当期	前期
	2010年4月1日から 2011年3月31日まで	2009年4月1日から 2010年3月31日まで
売 上 高	43,224	40,903
売 上 原 価	37,375	36,501
売 上 総 利 益	5,848	4,401
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	3,594	3,451
営 業 利 益	2,253	949
営 業 外 収 益	88	123
営 業 外 費 用	514	611
経 常 利 益	1,827	461
特 別 利 益	29	71
特 別 損 失	415	816
税金等調整前当期純利益 又は税金等調整前当期純損失(△)	1,442	△283
法人税、住民税及び事業税	474	323
法 人 税 等 調 整 額	△119	△117
少数株主損益調整前当期純利益	1,088	—
少 数 株 主 利 益	404	109
当期純利益又は当期純損失(△)	683	△598

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当期	前期
	2010年4月1日から 2011年3月31日まで	2009年4月1日から 2010年3月31日まで
営 業 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	6,360	7,240
投 資 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	△2,514	△3,602
財 務 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	△4,891	△2,925
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△13	△7
現金及び現金同等物の 増 減 額	△1,058	705
現金及び現金同等物の 期 首 残 高	1,654	949
現金及び現金同等物の 期 末 残 高	595	1,654

ホームページのご案内

www.marujun.co.jp

株主・投資家の皆様へ
決算短信等のデータをご提供しております

■ 丸 順（株式会社丸順）

丸順においては、国内景気の回復基調や主要顧客の増産等の後押しにより、主力商品である自動車プレス部品及び金型の生産は好調に推移しておりました。しかしながら、2011年3月に発生しました東日本大震災では、当社に人的・物的被害はありませんでしたが、主要顧客が生産活動を停止したため、業績に影響がありました。

この結果、売上高は17,336百万円、経常利益は162百万円となりました。

■ タ イ（タイ・マルジュン社）

タイにおいては、自動車メーカーによる生産拠点の投資が加速しており、アジア周辺諸国向けの輸出が拡大しているほか、好況によるタイ国内の個人消費の拡大もあり、生産は好調に推移しました。

この結果、売上高は9,493百万円、経常利益は262百万円となりました。

■ 広 州（広州丸順汽車配件有限公司）

広州においては、中国の経済成長により自動車が大衆へ急速に普及しているほか、中国政府の行った自動車補助金制度が需要を加速させたため、生産は好調に推移しました。

この結果、売上高は12,058百万円、経常利益は1,227百万円となりました。

■ 武 漢（武漢丸順汽車配件有限公司）

武漢においては、広州と同様、中国国内の自動車需要の拡大に伴い、生産は好調に推移しました。

この結果、売上高は4,015百万円、経常利益は226百万円となりました。

■ 四輪販売（株式会社ホンダ四輪販売丸順）

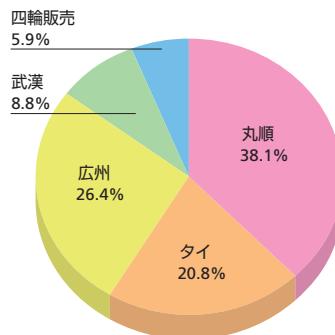
四輪販売においては、年度前半は積極的な販売活動や政府のエコカー減税・補助金施策が追い風となり販売が好調に推移しましたが、年度後半は補助金終了や年度末に発生した震災の影響により販売は減速いたしました。

この結果、売上高は2,684百万円、経常利益は62百万円となりました。

なお、前連結会計年度までは事業の種類別セグメントとして「プレス成形部品事業」「金型事業」「自動車販売事業」に区分して記載しておりましたが、当連結会計年度から会社別に「丸順」「タイ」「広州」「武漢」「四輪販売」の報告セグメントとしております。

また、「丸順」「タイ」「広州」「武漢」は、自動車プレス部品及び金型等の製造販売をしております。「四輪販売」は、自動車の販売およびサービスをしております。

● セグメント別売上高構成比



株主様ご優待制度のご案内

締切

2011年
9月30日^{*}まで

- ご 対 象 当社株式1千株以上をご所有されている国内の株主様
- お申込み方法 同封の「ご優待プレゼントお申込み書」に必要事項をご記入の上投函して下さい。
- ご応募締切り 2011年9月30日消印有効 ※「東日本大震災支援チャリティー」のみ2011年8月31日消印有効
- ご 優 待 内 容 下記5点の商品からお好きな商品をお選びいただけます。

① 株主様ご優待券 5千円分 (1,000円券5枚綴り)

オイル交換、車検、新車、中古車購入時等に金券としてご利用いただけます。



株主様ご優待券のお取り扱いについて
■本券は「ホンダカーズ大田」「ホンダオートテラス大田」の各店でご利用いただけます。
■本券1枚で1,000円の金券としてオイル交換、車検、新車・中古車購入時等にご利用いただけます。

有効期限:

2011年7月1日～2012年6月30日まで

② 非常用避難セット

玄関や寝室に置いていても美観を損ねないショルダーバッグの避難セットです。



持ち出しバッグラジオ付ライト(電池付)・携帯電話充電器
ホイッスル・マルチナイフ・救急セット・ソーイングセット
防災心得手帳(日本)

③ Honda Racing 2WAYバッグ (ショルダー&ウエスト)

レース現場の声を採用した、ウエストにもショルダーにも使える2WAYバッグ。デジタルカメラや手帳などをたっぷり収納でき、抜群の使いやすさを実現しました。



素材:ナイロンツイル、ポリエステル
●サイズ:高さ185mm×幅300mm×厚さ80mm

④ 岐阜の逸品 吉田ハム おすすめセット

1935年 岐阜県大垣市で創業。今でも“おいしさ”と“食の安心・安全”を追求している吉田ハムのお薦め!



・スモークピアソー・タレ入り煮豚
・ホワイトボンレス(各250g)



・飛騨牛ビーフカレー
・飛騨牛ビーフシチュー
(各220g×1個)



⑤ 東日本大震災支援 チャリティー

日本赤十字社を通じ、1口5,000円の義援金を東日本大震災の被災地へお送りします。

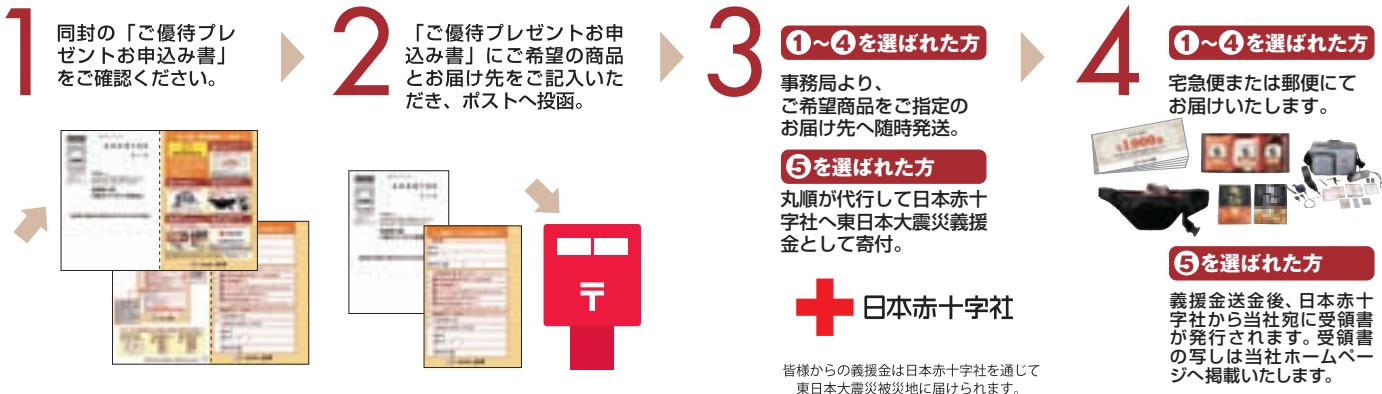


皆様からの義援金は日本赤十字社を通じて東日本大震災被災地に届けられます。

義援金送金後、日本赤十字社から当社宛に受領書が発行されます。受領書の写しは当社ホームページへ掲載いたします。

チャリティー券のみ応募期間を2011年8月31日までとさせていただきます

～ご優待プレゼントお申込みの流れ～



皆様からの義援金は日本赤十字社を通じて東日本大震災被災地に届けられます。

〈丸順株主様ご優待プレゼント事務局〉〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-19-13 AEビル4F 株式会社リクエスト内 TEL.052-586-0165 平日9:30～17:00



株式会社 丸順

丸順フィロソフィ

【基本理念】

人間尊重

3つの貢献（従業員、お客様、社会）

【社 是】

私たちは、グローバル規模でお客様から信頼され
魅力あるモビリティ部品の製造に絶えず挑戦する企業を目指す。

【3つのポリシー】

1. マネジメントポリシー…夢・想いを実現させるために何事にも
誠心誠意を尽くす。
2. 行動ポリシー…健全な心と体で、夢を創造しながらその実現に
向け、自ら考えて行動し社会の発展に貢献する。
3. ものづくりポリシー…真摯・良心・良識

当社は1952年の創業以来、金型の設計・製作及び自動車用プレス部品の製造分野にて独自の技術とノウハウを駆使し、自動車産業の発展とともに成長してまいりました。

この度、2011年4月よりスタートする第5次中期経営計画を策定（次頁にて紹介）するにあたり、20年以上掲げてきた基本理念及び社是をもう一度見直し、創業精神を尊重しながらも、時代の変化に合わせ再構築いたしました。基本理念を「人間尊重、3つの貢献（従業員、お客様、社会）」とし、社是を「グローバル規模でお客様から信頼され、魅力あるモビリティ部品の製造に絶えず挑戦する企業を目指す」と決めました。また、3つのポリシー（マネジメントポリシー・行動ポリシー・ものづくりポリシー）も新たに定め、全従業員が常にフィロソフィに立ち返り、目標や夢、日々の生産活動に取り組むことができるよう明文化いたしました。

当社を取り巻く経営環境を展望すると、2011年3月に発生した東日本大震災の影響により、今後の状況については依然として不透明な状況となっております。しかしながら当社は、今後も魅力あるモビリティ部品の製造に絶えず挑戦することを忘れず、グローバルに通用する企業体質を身につけ、「夢と希望」の実現に向けてクリーンで住みよい豊かな社会づくりに努めてゆく所存でございます。

長期ビジョンと中期経営計画

当社は、2008年度より中期経営計画「GIC PLAN 30」を展開し、2009年4月に数値目標は凍結したものの、計画に沿って各施策を推進してまいりました。この「GIC PLAN 30」の終了に合わせ、10年後の当社のあるべき姿・ありたい姿として新たに長期ビジョン「MARUJUN 2020 VISION」、第5次中期経営計画を策定いたしましたので、概要をお知らせいたします。

●長期ビジョン

Make the Difference!!

MARUJUNはスタンダードを構築し、世界でちがいを追求します。

※「ひと味ちがう製品」… 軽く、安く、安全なモビリティ部品の提供

※「ひと味ちがう技術」… ハイテン加工技術の深化と進化

※「ひと味ちがう人材」… 世界5極で双方向に活躍する人材の輩出

●MARUJUNは、グローバル規模で「ひと味ちがう製品・技術・人材」を追求することが2020年のあるべき姿・ありたい姿と考え、他との「差別化」を目指してまいります。

●長期ビジョンと中期経営計画イメージ

2011/4

2014/4

2017/4

第5次中期経営計画
種まきと基盤づくり

第6次中期経営計画
強化・進化

第7次中期経営計画
刈り取りと確立

**MARUJUN
2020
VISION**

→ 第5次中期経営計画は、新たな丸順フィロソフィのもと、長期ビジョン「MARUJUN 2020 VISION」の第1ステップとして、グローバル企業として成長するための「種まきと基盤づくり」の期間と定義いたしました。

重点施策は、①適正売上高の確保、②ボトム経営体質の構築（外的環境変化に影響されない強い体質）、③生産QDSの安定（標準化推進によるグループでの安定生産体質の構築）、④コア技術の深化（特異技術、技能の研鑽）、⑤グローバル基盤の構築と「出る杭を伸ばす文化」の醸成（自ら目的達成のために気付き、提案を発信し、実現する）、⑥環境（低炭素）への取組み強化（生産、物流における環境負荷低減）の6つです。

今中期3カ年は、グローバル総合力を強化してより強固な経営基盤・体質を確立してまいります。

会社概要 (2011年3月31日現在)

商号	株式会社 丸順 (英文社名：MARUJUN CO., LTD.)
創業	昭和27年7月 (創業者・最高顧問 今川 順夫)
設立	昭和35年1月
資本金	10億3,755万円
事業内容	自動車用車体プレス部品の製造 自動車用精密プレス部品の製造 大型金型等、各種金型の設計・製作 治具・検査具の設計・製作 自動車の販売・サービス
従業員数	559名(連結3,320名)

役員 (2011年6月23日現在)

代表取締役社長	今川 喜章
取締役副社長	小高 光一
取締役	森 源夫
取締役	奥田 崇雄
取締役	磯久 毅
取締役	高塚 雅彦
取締役	猪熊 篤俊
取締役	齊藤 浩
常勤監査役	西部 隆雄
監査役	片岡 信恒
監査役	岡田 正市
執行役員	山中 昭夫
執行役員	棚瀬 尚
執行役員	渡辺 敦
執行役員	栗本 和宜

(注) 常勤監査役 西部隆雄氏、監査役 片岡信恒氏は、社外監査役であります。

国内拠点

本社(丸順新田GICビル)	岐阜県大垣市新田町2-1234
浅西工場	岐阜県大垣市浅西3-22-22
上石津工場	岐阜県大垣市上石津町乙坂130-1
ユーテック工場	岐阜県大垣市浅西3-75
養老工場	岐阜県大垣市上石津町牧田2947-1
栃木開発センター	栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台198-5

国内子会社

株式会社ホンダ四輪販売丸順	岐阜県大垣市新田町2-1234
---------------	-----------------

海外子会社、主な出資会社

〔海外子会社〕

タイ・マルジュン社
SAHA RATTANA NAKORN INDUSTRIAL ESTATE, 117 MOO-4, BANGPHRAKRU, NAKORNLUANG, AYUTTHAYA 13260, THAILAND

広州丸順汽车配件有限公司
中華人民共和国広東省広州市
広州経済技術開発区永和経済区
永盛路8号

武漢丸順汽车配件有限公司
中華人民共和国湖北省武漢市
東湖新技術開発区流芳産業園光谷一路
特1号

〔主な出資会社〕

トマスコ・インディアナ社
200 INKS DRIVE WINCHESTER, INDIANA 47394, U.S.A

ベステックス・MM・インディア社
SPL-2B, TAPUKARA INDUSTRIAL AREA, KHUSHKHERA, DISTT. ALWAR, RAJASTHAN-301707, INDIA

株式の状況 (2011年3月31日現在)

株式数及び株主数

発行可能株式総数	39,000,000株
発行済株式の総数	9,771,000株 (自己株式4,855株を含む)
株主数	710名

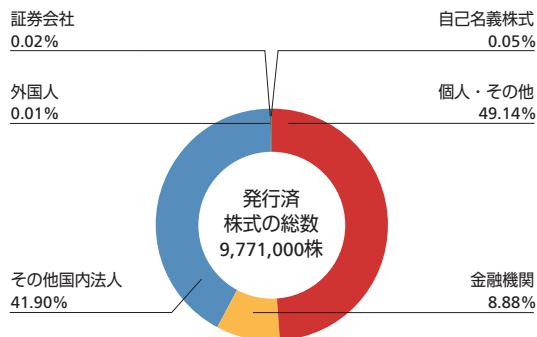
大株主の状況

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
本田技研工業株式会社	1,988,950	20.37
今川順夫	1,033,170	10.58
今川喜章	1,002,270	10.26
太平洋工業株式会社	463,950	4.75
名古屋中小企業投資育成株式会社	371,000	3.80
株式会社三菱東京UFJ銀行	325,000	3.33
今村金属株式会社	307,000	3.14
株式会社大垣共立銀行	300,000	3.07
有限会社イマガワ	300,000	3.07
丸順従業員持株会	297,080	3.04

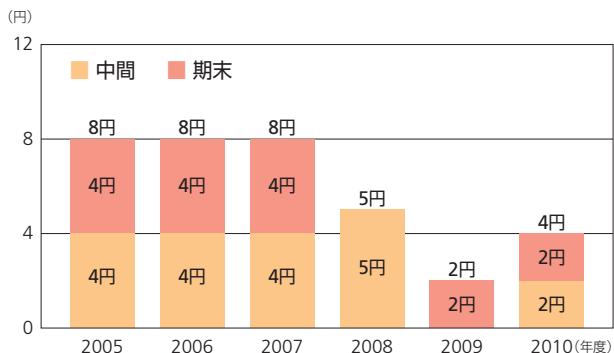
(注) 持株比率は、自己株式 (4,855株) を控除して計算しております。

株式分布状況

● 株式数構成比



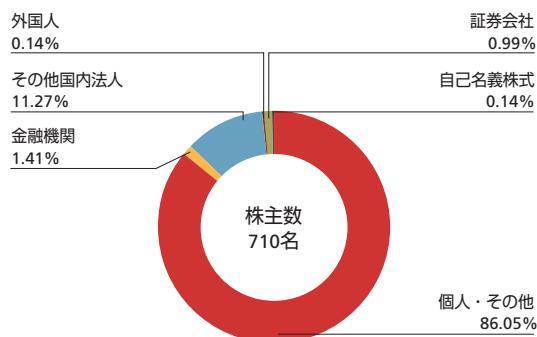
配当金の推移



当社グループの利益配分につきましては、株主の皆様に対する利益還元が経営の重要政策の一つであると考えており、配当性向、株主資本配当率、内部留保及び今後の業績動向等を総合的に勘案し、長期的視点に立った安定的・継続的な成果配分を行うことを基本方針としております。

以上の方針に基づき、期末配当金につきましては、1株当たり2円を実施させていただきます。なお、中間配当金として1株当たり2円を実施しておりますので、年間配当金は、1株当たり合計4円となります。

● 株主数構成比



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・ 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の本店及び全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

- ・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払について
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・配当金計算書について
配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は、大切に保管してください。
ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収額の計算は証券会社等で行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いいたします。

